

ヲ收メタリ、而モ藥品配給開始當時本道ニ於テハ全道的ニ悪性感冒流行中ニ付特ニ效果ヲ得タリ。

二、助産材料ノ配給

本年三月初旬ヨリ恩賜金救療委員ノ調査申告ニ依リ農漁山村居住貧困ナル家庭ニ在ル妊産婦ニ對シガーゼ、脱脂綿、硼酸、其ノ他數種ノ衛生材料及御産ニ關スル注意書ノ配給ヲ開始シタル處受給者ハ何レモ 聖恩ニ感激セリ。

東京府

醫療救護施設ハ御趣旨ニ鑑ミルニ申スマデモナク農山漁村ニ於ケル貧困ニシテ醫療ノ途ナキモノヲ救護スル施設ナルモ我が東京府ノ如キ區域ノ大部分ハ大東京市ノ地區ニ屬シ所謂農山漁村ニ屬スルモノハ府民六百萬ノ内僅ニ百萬ヲ數フル三多摩郡及伊豆七島小笠原諸島ナルヲ以テ主トシテ此ノ三多摩郡及島嶼ニ對シ救護施設ヲ爲スノ外新東京市タルノ舊隣接五郡ハ京ニ田舎アリノ譬ノ如ク漁農村地區モ存スルヲ以テ此等ノ地區ヲ包含セル新區「二〇」ニ對シテハ開業醫師ノ有無ニ拘ハラズ治療券ヲ配布シ要救療者ノ救護ニ努メツ、アリ將來ニ於テモ繼續スル見込。

救護ノ方法

農山漁村ニ屬スル三多摩郡及島嶼ニ對シテハ開業ノ醫師ナキ地方ニハ巡回診療、出張診療及家庭藥ノ配給ヲ爲シ以テ救護ニ努メツ、アリ即チ

一、巡回診療ハ西多摩郡ノ醫師ナキ山村タル石里、成木、小曾木、農村タル多西村ノ四ヶ村ニ亘リ巡回診療班ヲ組織シ各村滞在六日トシ毎日午前九時ヨリ午後四時迄ノ執務トシ漸次巡回診療シツ、アリ班ノ組織ハ醫師一名調劑員一名看護員二名トシ何レモ有給ノ嘱託員ニシテ日額ノ旅費ヲ支給ス

患者ノ選定ハ方面委員、區長協力シテ該當者ヲ嚴選シ之ヲ村長ニ報告シ村長ハ之ニヨリテ患者臺帳ヲ作成シ置キ毎日ノ人員ヲ調節シツ、診療ニ便ナラシメツ、アリ。

二、出張診療ハ南多摩郡ノ醫師ナキ村タル恩方ノ山村及川口、加住、由木ノ三農村ニ於テ行フ。

出張職員ハ府醫師會ト其ノ郡醫師會トノ協議ニヨリ郡内ノ醫師及看護婦ヲ知事ニ推薦セシメ府ハ之ヲ無給ニテ嘱託シ一村醫師一名看護婦一名宛配置シ日額旅費ヲ給シ府ニ於テ發行シタル治療券持參ノ患者ノミニ對シ診療ス。

治療券ノ交付ハ町村長ニ於テ適格者ヲ嚴選シ區長方面委員ヲ通ジ交付ス。

出張診療ハ毎日午後一時ヨリ午後四時迄ヲ執務時間トスルモ治療券ノ交付數ニ限リアルヲ以テ巡回診療ニ比シ徹底ヲ缺クノ嫌アリ研究ヲ要ス。

新市域ニ編入ノ舊南足立郡伊興村東淵江村(現在ノ足立區伊興町東淵江町)ニ於テモ出張診療ヲ施設中ナルガ將來ハ委託診療ニ改メシメントス。

三、委託診療ハ府ニ於テ治療券ヲ發行シ之ヲ新市域ニ屬セル舊隣接五郡及三多摩郡ノ全部(巡回診療班ノ診療地區ニハ配付セズ)ニ亘リ區町村ヲ通ジテ該當患者ニ交付セシメ最寄便宜ノ醫師ニ就キ診療ヲ請フヲ得シム。

治療券ハ一枚(貳拾五錢)府ニ於テ負擔ス(二日分トシ必要ニ應ジ再交付スルヲ得)。

四、家庭藥ノ配給ハ伊豆七島及小笠原諸島ニ各支廳ヲ通ジテ之ヲ行ヘリ醫療機關極メテ不十分ナル漁農村ナルヲ以テ巡回診療ヲ最適ノ方法ト認ムルモ遠隔交通不便ノ地ナルヲ以テ經理上施設スルコトヲ得ズ將來經理ノ按配宜シキヲ得バ巡回診療ヲ施設セントス。

五、出張診療ノ中ニ齒科ヲ加ヘ府齒科醫師會ト協議ノ上之ヲ無給ニテ嘱託シ前記南多摩郡足立區ノ醫師ナキ町村ニ於テ二班ヲ編成シ日額旅費ヲ支給シ(一班醫師一名、看護員一名)各村一週間滞在診療ヲ續ケツ、アリ尙右ハ成績良好ニシテ各村ノ希望モ多ク將來出來得ル限リ他ニ及ボス見込、尙重患ニシテ入院治療ヲ要スベシト認ムルモノ、處置ニ付テハ府立病院及濟生會各病院其ノ他ノ治療病院ト交渉シテ適宜入院ノ便宜ヲ講ジツ、アルモ若シ經費ノ許ス場合ハ特設病院ノ施設モ必要アルベシ。

往診ヲ要スル患者ノ診療ニ關シテハ醫員、看護員ノ増員並ニ小型自動車ノ設備ヲナシ迅速簡便ニ處置シタキモノナリ。  
 尙伊豆七島及小笠原諸島ハ家庭藥ヲ配付シ其ノ他ハ府ニ於テ治療券ヲ發行シ新市域二十區及三多摩郡全町村ニ配付シ開業醫  
 全般ニ亘リ自由ニ診療ヲ受ケシム。

東京府恩賜醫療救護施設一覽表 (昭和八年一月七日)

施設町村名	施設場所	職員	員	診療種別	診療日時	一日平均患者
伊興町	同町教員住宅	醫師一名	弘田眞澄	出張診療	二日診療シ一日休ミ二十日間午後一時ヨリ四時迄	六人
東淵江町	同町若村若住宅	看護員一名	濱野信雄	同	同	七
恩方村	小林崎龍田出張所	看護員一名	小林郷三	同	同	七
川口村	同村小學校内	看護員一名	野口君平	同	隔日時間同前	一
加住村	留所寶印寺内	看護員一名	田中信次郎	同	同	一〇
山木村	個人住宅内	看護員一名	高橋龍二郎	同	奇數日及偶數二・六ノ日診療時間同前	二
多西村	同村役場内	醫師一名 看護員二名	黒澤源英七	巡回診療	六日間、順次診療午前八時ヨリ午後四時迄	二六
石里村	同村小學校内	同	同	同	同	六六
成木村	同村役場内	同	同	同	同	四九
小曾木村	同村信用組合事務所	同	同	同	同	四三

昭和七年度 恩賜濟生會東京府恩賜醫療救護費歳入歳出豫算表

自昭和七年十月三十一日  
至同八年三月三十一日

款	項	日	豫算額	摘要
恩賜醫療救護費	配當金		三、四七二〇〇	
			三一、四七二〇〇	

款	項	日	豫算額	摘要
恩賜醫療救護費	配當金		一五、七三六〇〇	
			一五、七三六〇〇	
	指定交付金		三、〇〇〇〇〇	東京府ヨリ事務費トシテ補助

歳入之部

款	項	日	豫算額	摘要
恩賜醫療救護費	事務費		三、〇〇〇〇〇	
	俸給諸給		一、八九二〇〇	事務職員一人月七五〇圓六ヶ月分四〇〇圓 タイヒスト職員一人月五〇〇圓六ヶ月分六〇〇圓 惠與約七・五割(一四二圓) 關係者年末手当六七〇圓
	需用費		一〇〇〇〇	印刷費、帳簿、用紙類
	通信運搬費		一一〇〇〇	郵便切手、運搬費
	旅費		六六〇〇〇	職員分三六〇圓、嘱託三〇〇圓
	雜費		二二八〇〇	市町村長、醫師會、協議費一六〇圓(辨當代) 人夫炊爨費其ノ他
	俸給諸給		三、四七二〇〇	
	需用費		三、四四九二五	醫師一人月一五〇圓六ヶ月分九〇〇圓 看護員一人月四七五圓六ヶ月分四〇〇圓 惠與八三八圓五〇(七・五割) 醫療器具三〇八圓、白衣八枚一六圓、黒看護衣二番五〇圓、用紙簿印刷物三〇三・二五圓
	通信運搬費		二、三〇〇〇〇	運搬費一ヶ月三〇圓六ヶ月一八〇圓 通信費五〇圓
	治療費		一、三〇〇〇〇	薪炭費、洗濯代、人夫代、諸雜費
	雜費		三〇三二五	
	旅費		七、二〇一〇〇	
	委託治療券費		一六、二五〇〇〇	治療券六五、〇〇〇枚一枚二五錢ノ割

郡	別	町	村	名	人	口	醫師ノ居住セザル理由	
北	豊	上	練馬	村	六、一五九	衛生思想ノ發達セザル貧困患者ノ多キニ依ル		
南	足立	東	湫	江	村	一、六八八	同人口少キニヨル	
		東	湫	江	村	三、一〇五	同	
		綾	瀬	村	五、六七三	同		
南	多	横	山	村	三、七一五	最近多摩陵ノ御設定ニ依リ俄カニ開發サレシモ衛生思想ノ發達セザルト貧困患者多キニヨル		
		恩	方	村	四、二九一	山園ノ寒村ニシテ衛生思想ノ發達セザルト貧困患者多キトニヨル		
		川	口	村	四、〇三七	八王子市チ去ルコト約二里ノ寒村ニシテ貧困患者多シ		
		加	住	村	二、八九五	人口少ク貧困患者多シ		
		山	木	村	五、二四七	山チ以テ開マレタル一區劃ニシテ衛生思想ニ乏シク貧困患者多シ		
		南	村	村	四、一九三	農村ニシテ衛生思想ニ乏シク貧困患者多キニヨル		
北	多	西	府	村	二、三八四	純農村ニシテ疲弊甚シク貧困患者多キニヨル		
		石	里	村	三、一四二	山村ニシテ疲弊甚シク衛生思想ニ乏シク貧困患者多シ		
		小	曾	村	二、八七二	同		
		成	木	村	三、一二三	同		
		多	村	村	三、八三八	同		

京都府

本府ハ本施設ヲ京都市ヲ除ク郡部二百三十二ヶ町村ニ實施シ特ニ醫師ナク、其ノ出張診療所ナク且醫師ヨリ一里以上ヲ隔ツル二十九ヶ村ニ出張診療所ヲ新設シ其ノ普及充實ヲ期シ救護ノ徹底ヲ圖リタル結果所期ノ成績ヲ治メ得タリ即其ノ患者取扱實人員ハ三、六四八人ニシテ其ノ治療延日數六二、二二三三日ニ達シ、之ガ救療ヲ受ケタル農山漁村民ハ勿論一般村民モ亦御聖旨ニ感激セリ。

大阪府

客年八月救療ノ資トシテ思召ヲ以テ御内帑金壹萬七千四百圓ヲ下賜セラレ同時ニ之ト同額ノ國費ヲ配當セラレタルニ付本府ニ於テハ更ニ府費金壹萬圓ヲ加ヘ總額金四萬四千八百圓ヲ財源トシテ主トシテ農漁山村ニ於ケル醫療救護ノ計畫ヲ樹立シ客年十月一日ヨリ之ヲ實施シタリ而シテ其ノ方法ノ一ハ委託ニ依ル出張診療ニシテ府下ニ於ケル醫師無キ町村六十九ヶ町村中二十一ヶ町村ニ出張診療所ヲ設置シ恩賜濟生會ニ四班日本赤十字社大阪支部ニ三班計七班ノ診療班ヲ組織セシメ各班ヲシテ三診療所ヲ擔當セシメ毎週二日宛各出張所ニ出張シ診療セシムルモノニシテ診療班ノ組織ハ醫師一人、調劑員一人、看護婦二人トス他ノ一ハ恩賜濟生會ヲ通ジテ行フ地方開業醫ヘノ診療委託ノ方法ニシテ右ハ同會ニ於テ發行スル診療券ニ依リ開業醫ノ診療ヲ受ケシムルモノトス。

而シテ本施設ノ恩賜救療事業ノ趣旨ナルヲ一般ニ周知セシムル爲其ノ要旨ヲ印刷ニ付シ各出張診療所各町村役場、小學校、産業組合等ノ揭示場、湯屋、理髮店其ノ他公衆ノ見易キ場所ニ之ヲ掲グルノ外各貧困家庭ニ配付シ以テ救療ノ徹底ヲ期シタリ、尙要救療者ノ範圍ハ「各種救護法令ニ依リ救護ヲ受ケ得ル生活程度ノ者ニシテ醫療ヲ受クルノ資無キ者」ナルモ現ニ救護法軍事救護法其ノ他ノ法令ニ基キ救護ヲ受ケツ、アル者ハ之ヲ除外スルモノニシテ患者ヲシテ速ニ診療ヲ受ケシムルカ爲ニハ必要ニ應ジ直チニ診療券ヲ交付スルノ要アリ即町村長、警察官、方面委員又ハ區長等各戸ニ就キ右資格ノ有無ヲ豫メ調査協議ノ上要救療者名簿ヲ作成セシメ各自之ヲ備付ケシム。

客年十月一日以降實施ノ成績ヲ徵スルニ極メテ良好ニシテ同年度内ニ於ケル患者數五千五百六十六人治療延日數實ニ十三萬七千二百五十五日ノ多キニ達シ此等ノ患者ハ 聖恩ノ優渥ナルニ日夕感泣シツ、アリ。

神奈川縣

内務省訓令並ニ次官通牒ヲ體シ委託診療、出張診療、巡回診療等ノ諸施設ヲナス、當初ハコレガ事業ニ就キ趣旨徹底セザル憾アリシヲ以テ各郡毎ニ町村長、町村事務取扱者並ニ社會委員等ヲ招集シ事務ノ打合セラナセリ、コレヨリ先キ、神奈川縣醫師

會ハ今回ノ恩賜救療事業ニ對シ縣當局ト協力シ以テ最善ノ努力ヲ致サンコトヲ期ス旨決議ヲナシ實施ニ當ツテハ屢々縣當局ト其ノ方法等ニ就キ協議ヲナシタリ委託診療ハ巡回診療等ニ比シテ成績ノ優ガラザル原因ヲ町村長等ニツキ調査スルニ醫師自身カ醫療券ニ依ル患者取扱ヲ喜バズ、コレヲ冷遇スル傾キアリトシ第二ニ患者自身所謂「オ助ケ」ヲ喜バザル純朴ナル風習ニ基因スルモノアリ、第三ニハ農山村ニアリテハ醫療券ニヨリ醫療ヲ受クベキ醫師ニ對シ當該患者ハ多大ノ借財ヲナシ居ル關係上今更醫療券ヲ利用シ得ザル事情存スル等ヲ察知シ得タリ、但シ出張診療ニアリテハ救療ノタメニ特ニ醫師ガ出張セラレ居ルトノ意味判明セル爲カ相當成績ヲ擧ケ居レリ。之ニ反シ巡回診療ハ以上ノ如キ懸念全然ナキヲ以テ患者ハ非常ニ之ヲ歡迎シ居リコ  
 レニ依リ考察スルニ眞ニ農山漁村ノ貧困病者ニ救療ヲ普及セシムルニハ如斯施設ニ依ルヲ最善ト思惟ス、尙恩賜救療事業ノ普及ニ伴ヒ各農村ハ漸次低費ニ依ル醫療設備ヲ考慮シ居レリ。

兵庫縣

一、救療實施方法(縣ニ於テ直接施行スベキ救療事項)

イ、恩賜簡易診療所出張診療

醫師ナキ町村及醫療普及完カラザル隣接數ケ町村ヲ區域トシ一定場所ニ縣ノ職員タル醫師ヲ駐在セシメ其ノ區域内ヲ更ニ區分シ毎月五回乃至十回宛各所ヲ巡回診療セシム。

ロ、囑託出張診療

前項ノ地方中土地ノ狀況ニ依リテハ近接町村在住醫師ヲ囑託シテ定期的五日乃至七日毎ニ出張診療セシム。  
 救急治療ノ必要アルトキハ其ノ都度往診治療セシム。

ハ、一般委託診療

醫師ノ在住スル市町村ニ對シテハ其ノ地方ノ公私立病院、開業醫師ニ委託シテ診療券、入院券等ニ依リ診療ヲ爲サシメ又必要ニ應ジテハ開局藥劑師ニ委託投藥セシム。

本縣ニ於テハ昭和三年御大典記念事業トシテ庶民階級ノ救療ヲ目的トスル計畫ノ下ニ篤志家ヨリ受ケタル寄附金五拾五萬圓ヲ基本トシテ庶民病院巡回診療部ヲ設ケ巡回診療班五班ヲ(一班ハ醫師及藥劑師各一名ヲ以テ組織ス)組織シ昭和七年八月ヨリ縣下ノ醫師ナキ町村又ハ醫療普及ノ完カラザル地方ノ住民ニ對シ巡回診療ヲ行ヒ一面醫師アル地方ニ對シテハ委託診療ヲ施行シツ、アリ仍テ今回ノ御下賜金並ニ國費配當金ニ依ル事業トシテハ前記ノ通り醫師ヲ常住セシメ又ハ之ヲ囑託スル方法ヲ以テ救療ノ徹底ヲ期セムトス尙今回ノ救療事業ヲ濟生會其ノ他ノ救療團體ニ委託スルモ一方法ナリト雖モ本縣ニ於テハ既ニ巡回並ニ委託診療ヲ施行シツ、アリシヲ以テ之ニ併合實施セシムルコトガ事業ノ統制能率ノ増進並ニ醫師ノ監督等目的達成上便宜ナリト認メ前記救療ノ外庶民病院巡回診療部及其ノ他ノ施設ト併合實施シタリ之ガ救療事項ヲ參考ニ示セバ左ノ如シ。

一、巡回診療

醫師ナキ町村又ハ醫療普及完カラザル町村ニ對シテハ毎月二回以上縣ヨリ巡回診療班ヲ派遣シ巡回診療ヲ行ハシム。

二、各科専門醫巡回診察

毎月二回以上縣立神戸病院各科醫長一名ヲ交互ニ適宜地方ニ派遣シ診察セシム。

三、結核巡回診療

結核性疾患者ハラテオ納付金ニ依ル結核診療ニ移シ可及的一般患者ノ診察治療ノ普及徹底ニ努ム。

四、榮養品配給

治療上榮養品配給ヲ必要ト認ムル患者ニ對シテハ日本赤十字社兵庫支部ト協力榮養品ノ配給ヲナサシム。

長崎縣

一、昭和七年八月二十日內務大臣ヨリ救療事業ニ關スル訓令ヲ受ケ御下賜金及國庫交付金アリタルヲ以テ左ノ計畫ヲ樹テタリ。

1 恩賜診療施設主體ハ長崎縣トシ御下賜金並國庫配當金ヲ縣費ニ收入シ事業ヲ施行ス。  
備考

四〇

昭和七年度ニ於ケル救療費御下賜金九、八〇〇圓國庫配當金九、八〇〇圓計一九、六〇〇圓ナリ。  
昭和八年度ニ於テハ御下賜金一九、六〇〇圓國庫配當金一九、六〇〇圓之ニ縣費三、〇〇〇圓ヲ加ヘ計金四二、〇〇〇圓ヲ以テ醫療救護ヲ爲スコト、セリ。

## 2 恩賜診療方法

イ、縣ハ恩賜診療券ヲ發行シ救護法、軍事救護法及<sup>恩賜</sup>濟生會等ノ要救護該當者以外ノ貧困ノ爲療養ノ途ナキ者戸數割ヲ免除セラレタル者及其ノ家族、市町村長、警察官吏、方面委員ニ於テ其ノ必要アリト認めタル者等收入過少ノ爲醫療ヲ受クルニ困難ト認めラル、者ニ診療券ヲ交付シ醫師、齒科醫師、產婆等ニヨリ診療ヲ受ケシム。  
ロ、醫療機關ナキ二十七ヶ町村ノ内僻陬地ニシテ醫療ニ甚シキ支障アリト認ムル八ヶ村ニ出張診療所及出張醫ヲ設置シ救療ニ從事セシムルコト、セリ。  
備考

出張診療所ハ交通極メテ不便ニシテ最寄町村開業醫ヨリノ診療ヲ受クルニ困難ナル村ニ醫師ヲ常設シ救療ニ從事セシム。

出張醫ハ右ニ準ジタル村ニシテ最寄町村開業醫ニ依頼シ隔日若シクハ三日置ニ該町村ニ出張セシメ救療ニ從事セシム。

ハ、昭和七年九月二十八日恩賜診療ニ關スル訓令恩賜診療要綱及同取扱手續ニ關スル通牒ヲ發シタリ次ニ本事業ノ進捗ヲ圖ル爲縣内十九ヶ所ニ於テ町村事務主任者及警察官吏、醫師、齒科醫師、產婆、方面委員等ヲ參集セシメ協議會ヲ開催スルト共ニボスター宣傳ビラヲ配付シ趣旨ノ徹底ヲ圖リタリ。

二、開業醫宅ヨリ一里以上ニシテ地勢上醫師ノ往診極メテ困難ナル町村部落及其ノ戸數調査ヲ爲シタルニ其ノ部落數二三〇右戸數一〇、六七八戸ヲ算シタリ右部落要救療者ニハ診療券ヲ交付シ醫療ヲ受ケシメントスルモ事實診療ヲ受ケ難キ實情アルヲ以テ僻陬部落民ニ對シテモ本診療ノ恩澤ニ浴セシムル爲家庭常備藥ヲ配置スルノ要ヲ認め解熱劑、健胃劑、吐瀉劑、鎮咳劑點眼劑ノ五種藥品ヲ右部落ニ配置シ同部落居住ノ方面委員若クハ區長宅ニ備ヘ置キ要救療者罹病シ藥品ノ請求ヲ爲シタル場合ハ直ニ交付スルノ方法ヲ執リ救療ノ徹底ヲ期シタリ。

## 三、市町村ニ於ケル實施概況

市町村ニ於テハ恩賜診療ニ關スル訓令恩賜診療要綱及同取扱手續ニ關スル通牒ニ基キ其ノ市町村民ニ對シ之カ趣旨普及ヲ圖ルト共ニ方面委員區長等ヲシテ要救療者ノ選定ヲナサシメ要救療者罹病シタル際ハ直ニ醫師、齒科醫師、產婆等ニ依リ救療セシムル手配ヲ講ジタリ。

## 新潟縣

### 委託診療

一、本救療ハ御聖旨ヲ窮民ニ知ラシムルタメ全部縣直接施行ノ事業トシ特ニ恩賜新潟縣救療規程ヲ公布シタリ。  
二、救療ノ範圍ハ大體特別戸數割一戸平均額十分ノ一以下並其ノ他之ニ準ズル貧困者トナシタリ。  
三、救療方法ハ全縣ニ亘リ委託診療ヲ實施スルコトヲ以テ主旨トシ而シテ開業醫ナク委託診療ニ依リ難キ僻陬部落ニ對シテハ出張診療ヲ實施シタリ。

四、委託診療ノ醫療券ハ甲種乙種ノ二種ニ分チ甲種ハ各市町村へ數十枚宛配付シ置キ適宜市町村長ニ於テ患者ニ交付セシメ其ノ有効期間ヲ十日間トセリ。

尙引續キ救療ヲ要スル者ニ對シテハ醫師診斷書ヲ添ヘ乙種券交付方ヲ縣へ申請セシメ縣ハ診斷書ニ依リ其ノ都度有効期間ヲ決定シ交付シタリ。

五、歳入豫算ハ御下賜金壹萬八千四百七拾五圓、國費壹萬八千四百七拾五圓、外ニ縣費壹萬八千四百圓ヲ支出シタリ。

計金五萬五千參百五拾圓ナリ。  
歳出豫算ハ委託診療費貳萬九千六百八拾五圓、出張診療費貳萬貳千九百八拾壹圓、事務費貳千六百八拾四圓、計金五萬五千參百五拾圓トセリ。

六、本救療ハ農漁山村ヲ主トシテ市町ニ對シテハ單一ニ極少額ヲ配當シタルニ過ズ(委託診療)

七、醫療費ハ縣醫師會、縣齒科醫師會、縣藥劑師會ト協定シ水藥散藥ハ一日分一劑十錢以下トシ他ハ總テ恩賜濟生會ト同様トセリ(濟生會ハ一日一劑十二錢五厘)

八、趣旨ノ徹底ニ付テハ再三通牒ヲ發シ又常例方面委員會ニ際シテハ其ノ都度指示シ尙各警察署ヲ通ジ駐在巡查ノ活動ヲ求メ互ニ連絡ヲトリ救療ニ勉メタリ、尙昭和八年二月初旬各郡ニ亘リ各市役所役場ノ醫療事務主任者並方面委員ヲ召集シ事務講習會ヲ開キタリ。

而シテ濫救漏救ニ失セズ敏速且公平ナル交付ニ留意シタリ。

出張診療

一、本縣ニ於テ開業醫ナキ町村一二二ヶ町村ノ内最モ醫療ニ不便ナル村三十二ヶ村三十九ヶ所ヲ選ビ實施シタルモ土地ノ實情ニ鑑ミ五ヶ村五ヶ所ヲ廢止シ十二ヶ村十二ヶ所ヲ増設シタリ。

二、醫師ハ地方開業醫師、看護婦ハ可成實施村居住者ヲ囑託シ各一名宛及役場書記一名以上ヲ從事セシメ、藥ハ一切縣ニ於テ實施箇所ヘ常備シ速時投藥セシメタリ。

三、尙實施情況ニ鑑ミ往診ノ必要ヲ認メ診療當日終了後時間ニ餘裕アル場合ハ往診セシムルコト、シ、客年十二月十七日ヨリ開始シタリ。

四、其ノ他大體委託診療ノ項ニ説明シタルガ如シ。

埼玉縣

一、方法

イ、縣下醫師アル二三四市町村ニ對シ既設醫療機關ヲ利用シテ委託診療ヲ開始ス

ロ、巡回診療班ニテ診療シタル結果重患者ト見ナシタル時ハ委託診療券ニ依リ治療ヲ受ケシム

ハ、巡回診療班ニ於テ二日以上投藥シ得サル者ニ對シテハ便宜濟生會處方券ヲ以テ調劑ノ便ヲ計リツツアリ

二、藥價費

物價騰貴ニ伴ヒ藥價費高騰セル爲縣醫師會懇請ニ依リ治療費一日拾五錢ニ値上シテ一層救療ノ貫徹ヲ圖レリ。

其他

時局匡救醫療救護開始ト同時ニ縣民ニ對シ恩賜診療開始ノ趣旨並救療ノ普及徹底ヲ圖ル爲各市町村並醫師ニ對シポスターヲ印刷配付ス。

群馬縣

日本赤十字社群馬支部並濟生會ト協力シ醫師ナキ町村又醫師ニ遠隔ナル町村等ヲ按配シテ巡回診療二十五ヶ所出張診療(八年二月ヨリ)七ヶ所ニ之ヲ實施シ其ノ他ハ一般開業醫ニ對シ治療券ニ依ル委託診療ヲ以テ縣下普遍的ニ御趣旨ノ普及徹底ニ努メタル結果之レガ恩典ニ浴スルモノ縣下貧困階級ノ全般ニ及ヒ 聖恩ノ宏大無邊ニ感泣シツツアリ。

千葉縣

一、縣下六ヶ所ニ醫師一、看護婦一、書記一、ヨリ成ル特設診療所ヲ設置シタリ。

二、農山漁村中僻遠ノ地ニシテ開業醫ナク醫療ニ惠マレザル地方十ヶ所ニ委託診療所ヲ設置シタリ。

三、縣下一般ニ對シ救療ノ實ヲ舉グル爲診療券ヲ發行シ救療資格ヲ定メ市町村長、方面委員等ヲシテ配給上遺憾ナキヲ期セシメタリ。

四、救療費ノ一部ヲ以テ財團濟生會ヲ通ジテ行フ救療ヲモ爲シタリ  
五、特ニ救療事業委員會ヲ組織シ關係者ノ聯絡ヲ圖リ圓滿ナル遂行ニ關シ協議シタリ。  
以上ノ施設ニ依リ若々實施シタルガ極メテ圓滿ニ進歩シ縣民一般ヨリ甚大ノ感激ト感謝トヲ以テ迎ヘラレタリ。

四四

茨城縣

一、醫療救護施設ニ關シテハ 御聖恩ノ趣旨ヲ奉體シ左記ノ如ク慎重計畫ヲ樹テ以テ無告ノ窮民ニ御恩澤ヲ均露セシムベク銳意努力セリ。

イ、縣下一般ニ對スル救療施設トシテ七年度ニ於テハ金九千貳百六拾壹圓ヲ財團濟生會ニ交付シ財團濟生會ハ既定豫算壹千七百五拾貳圓ヲ加ヘ計金壹萬壹千拾參圓ヲ以テ救療券壹萬四千八百八拾枚及豫備トシテ縣ヨリ金參千七百五拾圓ヲ以テ診療券五千枚ヲ發行シ之ヲ縣下各警察署、巡查駐在所、市町村役場ニ配布シ置キ市町村長、警察官吏、方面委員等ノ活動ニ依リ醫療ノ費用ニ乏シキ患者即チ市町村總戸數約二割ヲ要救療者ト認メ之等ノ者ノ疾病ニ罹ル際ハ直ニ治療券ヲ交付ノ上救療シ以テ恩賜ニ依ル御趣旨ノ普及徹底ヲ期セリ。

ロ、傷病種類ニ依リ入院或ハ手術ヲ要スル患者ニ對シテハ特別診療券壹千枚ヲ發行シ之ヲ縣下各地ノ病院、醫院ニ委託シ治療セリ。

二、醫師ノ開業ナク又地理的關係ニ於テ醫療ヲ受クルコト相當困難ナル三十一ヶ村ニ對シ醫師會ノ援助ヲ得テ適當ナル開業醫ヲ囑託シ毎月隔日午後一時ヨリ五時迄一ヶ月十五日間ノ出張診療所ヲ設置シ診療券ノ受給者ニ對シ醫療ノ便宜ヲ與ヘタリ。  
三、醫師ノ開業ナキノミナラズ土地極メテ僻陋地ニシテ交通頗ル不便ニテ醫療ヲ受クルコト極メテ困難加フルニ出張診療所モ亦設立ノ見込ナキ左記五ヶ村ニ對シテハ縣直營ノ診療所ヲ設置シ專任醫師二名看護婦五名ヲ置キ各村ヲ巡回シ貧困患者ノ無料診療ヲナセリ。

久慈郡 諸富野村診療所

那珂郡 檜澤村診療所  
稻敷郡 本新島村診療所  
稻敷郡 十余島村診療所  
同 浮島村診療所

栃木縣

本縣ニ於テハ縣ガ直接行フ巡回診療及財團濟生會ヲ通ジテ行ハシムル委託診療ノ二方途ニヨリ昭和七年十月一日ヨリ實施中ナリ。

一、縣直接行フ施設

巡回診療班ハ醫師、藥劑師、看護婦一名ヲ以テ組織シタルモノニ班及附近開業醫ニ囑託シタルモノ一班計三班ヲ編成シ醫師ナキ町村又ハ醫療ニ惠マレザル山村等總計二十四ヶ村ニ對シテ毎月一ヶ村ツツ巡回的ニ繼續シテ夫々其ノ村ニ出張ノ上其ノ場ニ於テ貧困者ニ對シ無料診察、治療ヲ行ヒタリ、實施方法ハ當該町村ニ於テ要救療者ヲ調査登錄セシメ之ニ無料治療券ヲ交付シ診療所ニ來リ治療券ヲ提示シテ診療ヲ受ケシムルモノニシテ各診療所ニハ夫々藥品、施術用器具ノ大要ヲ設備シ特種ノ藥品、器具ハ携行シテ其ノ場ニ於テ直ニ投藥並ニ施術シ得ル様利便ヲ計リタリ。

二、財團濟生會ヲ通ジテ行フ施設

一般縣内居住ノ者ニシテ疾病傷痍ニ罹リ又ハ妊娠シタルモノ自ラ治療若ハ助産ヲ受クルノ資ナクシテ他ニ療養ノ途ナキ者ハ財團濟生會ノ委託診療ヲ受クルコトヲ得ルモノニシテ實施ニ當リ救療規程ノ改正ヲ行ヒ縣ニ於テ發行ノ無料治療券ヲ前記該當ノ窮民ニ警察署長及市町村長ヨリ交付セシメ以テ縣内一般開業ノ醫師、齒科醫師、産婆又ハ藥劑師等ニ就テ治療施術、助産又ハ入院、投藥等ヲ受ケシム、又藥價、治療費ノ低減ヲ計リ醫師會其ノ他ノ醫療救護團體ト協商シ廣ク窮民救療ノ實ヲ舉ゲ以テ 御聖旨ニ副ヒ奉ル様取扱ハシメツツアリ。

奈良縣

恩賜醫療救護實施ニ當リ本縣ニ於テハ左記ノ通り施行シタリ

一、委託診療

從來ノ濟生會ノ方法ニ準ジ治療券ヲ發行シ警察署長、市町村長又ハ方面委員ヲシテ本縣恩賜醫療救護規程ノ該當ノ患者ニ交付セシメタリ。

二、出張診療

出張診療ニ就テハ醫師常住セザル町村及在住セルモ地形交通其ノ他ノ關係上醫療ヲ受クルコト特ニ困難ナル別記地方ニ於テ縣ヨリ最寄ノ醫師ニ委託シ定期的ニ出張診療ヲ行ハシメタリ。  
尙出張診療所ノ設置セラレタル地方ニ於テハ一般村民ノ便ヲ計リ該當者ノ診療ニ支障セザル範圍ニ於テ特ニ一般患者ノ診療ヲ爲サシメタリ。

三、既設施療施設ニ對スル補助

既設ノ二無料診療所ニ對シ利用患者ノ數ニ應ズル金額ヲ交付シテ治療ニ當ラシメタリ。

四、濟生會ヲシテ醫師常住セズ醫療ヲ受クルニ最モ困難ナル左記村ニ醫師一名ヲ駐在セシメ其ノ診療所ヲ根據ニ附近ニ出張診療ヲ行ハシムベク本年一月ヨリ開始シタリ。

記

吉野郡野迫川村大字池津川

五、以上實施ニ當リ之ガ趣旨ノ普及徹底ヲ計ルベク昨年十二月ニハ「リーフレット」十三萬枚ヲ作製シ縣下全般ニ配付シタル外本年二月二十二日ヨリ同月二十八日ノ一週間ヲ「恩賜醫療週間」トシテ、「ポスター」ノ揭示「被救護者一齊調査」「恩賜醫療相談所」(縣下全治療醫宅)ノ設置等ヲナシ其ノ徹底ヲ期シタリ。

別記

一、山邊郡豊原村三ヶ谷

二、磯城郡多武峯村倉橋

三、宇陀郡内牧村高井

四、同 郡宇賀志村宇賀志

五、同 郡同 村下芳野

六、吉野郡天川村廣瀬

七、同 郡白銀村平沼田

八、同 郡十津川村西中

九、同 郡同 村五百瀬

三重縣

一、名稱並訓令

三重縣恩賜事業ト名稱ヲ定メ醫療上遺憾ナキヲ期スル爲警察署市町村役場等ニ三重縣恩賜救護資金規程、三重縣救護規程恩賜救護事務取扱手續ヲ發セリ。

二、救護範圍及其選定方法

- 1、傷痍若ハ疾病ニ罹リタルモノニシテ貧困ノ爲治療ヲ受クルコト能ハザルモノ
- 2、救護範圍ノ決定ハ豫メ市町村長ニ於テ管區巡查、方面委員ノ協議ノ上之ヲ決定シ要救護該當世帯主名簿ヲ作製シ救護證ヲ交付シ置キ必要ヲ生ジタルトキハ該世帯家族ヲ救護セリ。

救護方法



醫師ニ關シテハ出張診療、巡回診療、委託診療、藥劑師ニ關シテハ處方箋ニヨル調劑

三、救療機關

1、出張診療

開業醫ナキ農山漁村ニシテ救療ヲ行フニ不便ナル地方ニ對シテハ當該町村ニ出張診療所ヲ設置シ近接地開業醫ニ委嘱シテ出張診療ヲ行ハシム

イ、設置町村數

開業醫ナキ町村及醫師出張所ノ設ケナキ町村總數六二ノ内交通至便ニシテ近接市町村開業醫ノ診療ヲ受クルコト比較的容易ナル町村ヲ除ケバ約五十ヶ町村トナルモ醫師ノ選任其ノ他ノ都合ニ依リ不取敢別記二十九ヶ町村ニ設置セリ

ロ、出張回数 月八回ヲ標準トス

ハ、診療醫 當該町村長ノ推薦ニ依リ縣ヨリ囑託ス

ニ、醫師手當 縣ノ負擔トシ一人平均月額四拾圓トス

ホ、藥費 縣ノ負擔トス

ヘ、設備費 當該町村ノ負擔トシ適當ノ箇所ニ設置セシム但シ一町村一ヶ所トス

ト、雜費 當該町村ノ負擔トス

チ、其ノ他

一、大手術、大處置、入院等ヲ要スル場合ハ當廳内議ノ上診療セシム

二、往診ヲ要スル場合ハ其ノ往診料ハ當該患者ノ負擔トス但シ負擔ノ資力ナシト認めラル、モノハ其ノ町村ニ於テ適宜考慮セシム

三、出張醫ニハ一般診療ヲモ併セ行ハシムルモ本診療患者ヲ第一次ニ診療セシム

2、巡回診療

開業醫ナキ町村ニシテ出張醫設置ニ至ル迄ノ間救療ニ従事セシムル外特ニ必要ト認めラル、町村ニ於ケル窮民救療ノタメ恩賜救療班ヲ組織シ巡回診療ヲ行フ

イ、班數 二

當分ノ内日本赤十字社巡回診療班ニ委嘱ス

ロ、班ノ構成 醫師一名、看護婦二名

調劑ハ最寄ノ藥劑師ニ委嘱ス

ハ、患者ニ對シテ一定期間(最長十日間)ヲ限り無料施藥スル外必要ノ場合ハ處方箋ヲ交付ス

備考 財團法人三重縣社會事業協會ニ於テ別ニ一班ヲ組織シ近ク右ニ準ジ巡回診療ヲ行フ筈ナリ(七年度豫算七、五〇

〇圓)

3、委託診療

開業醫アル農山漁村、開業醫ナキモ交通至便ニシテ速ニ醫師ノ診療ヲ受クルコトヲ得ル町村ニ對シテハ醫師會、齒科醫師會、藥劑師會ト豫メ協定ヲ遂ゲ最寄醫師ニ付治療ヲ受ケシム

該當市町村數二八四

4、事務取扱方法

イ、恩賜救療事務ハ學務部社會課ノ主管トシ一部濟生會ニ委嘱ス

ロ、救療ハ總テ恩賜救療券及恩賜處方箋ニ依リ行フ

恩賜救療券ニ依ル患者ノ診療ハ總テ無料トス

ハ、恩賜救療券及處方箋ハ各市町村ニ於ケル人口其ノ他ヲ標準トシテ豫メ之ヲ市町村ニ配當シ必要ニ應ジ市町村ヨリ要救

療者ニ交付セシム

ニ、恩賜救療券ハ各月末毎ニ締切リ之ヲ縣醫師會、齒科醫師會、藥劑師會ニ於テ取纏メ其月分ヲ翌月十日迄ニ縣ニ提出セシム

ホ、診療費、調劑投藥助産手當、看護料等ハ當該團體代表者ニ一括シテ之ヲ交付ス

ハ、救療費ノ限度及藥劑師投藥ノ藥價ハ別記醫師會、齒科醫師會、藥劑師會トノ協定額ニ依ル

要救療者見込數概算

種別	戸數	人	口	同上ノ内罹病者見込人員
免除者	四、二九六		二一、四八〇	六、一二四
半免除者	五、九一三		二九、五六五	八、四二九
免除者ナキ町村民	三、七六五			
免除者アル町村民	二、一四八			
計	一〇、一〇九		五一、〇四五	一四、五五三

備考 一、免除者ナキ一五六市町村ニ對スル要救療世帯ハ戸數割免除者アル町村數並同免除者ノ比率ニヨル

二、免除者アル町村民中半免除者數ハ大略免除者ノ半數ト看做ス

三、罹病者ノ見込人員ハ前項人員ノ二割八分五厘ノ見當ヲ以テ算出セリ

愛知縣

救療ノ資トシテ 長クモ御内帑金御沙汰ヲ捧ジ同時ニ 國庫配當金ノ 交付ヲ受ケ益々救療施設ノ 完備ヲ期スベク前記交付金三四、二六六圓中一七、三四〇圓ハ濟生會ヲ通ジテ行フ委託診療費、急救箱配置費ニ充テ一六、九二六圓ハ之ヲ縣直營ヲ以テ行フ巡回診療班費ニ充當セリ。

其ノ實施方法ハ先ヅ縣下全般ニ亘リ地方開業醫ニヨル委託診療ヲ擴張シ其ノ徹底ヲ計リタルト共ニ醫療ニ不便ナル地域ニ對シ

テハ巡回診療班ヲ派遣シ每週定期巡回ヲナシ救療ヲ徹底セシメ巡回ノ及バザル僻陬地ニ對シ 財團 濟生會ヲ通ジテ急救箱ノ配置ヲ行ヒ、既設ノ救療施設並輕費診療所等ト相俟ツテ醫療救護ノ徹底ヲ期シタリ。

其ノ結果各方面ヨリ此等救療施設ニ付其ノ増設要望ノ聲盛ナリ。

尙本縣ニ於テハ醫救事業開始ハ同時ニ輕費診療制度ヲ縣費ヲ以テ新設シ細民ニ非ラザル中産以下ノ者ヲ對照トシテ醫療費ノ輕減ヲ圖リ其效果著シキモノアリ。

(昭和七年ニ於ケル取扱件數二十萬餘件ニ及ビ特ニ農山村方面ニ於テ多ク利用セラレ居ル狀況ナリ)

一、巡回診療班實施概況

從來縣ニ於テ實施セル二班ヲ更ニ五班ニ増班シ各班專任醫師、調劑員、運轉手各一名ヲ以テ組織シ自動車ニヨリ縣下ノ醫師ナキ町村並ニ醫療ニ不便ナル町村六十八町村ノ巡回診療ヲナス

イ、方法

同一町村ニ每週一回定期ニ巡回ス

一班一日診療町村二ヶ村乃至三ヶ村

ロ、成績

一班一日取扱患者數平均三十五名

(五班分一七五名)一名ニ對シ概ネ毎回七日分投藥ス

患者實人員 六、九一三人

治療延日數 一一六、四二九日

ハ、經費

經費決算額 三五、七八九圓(内御下賜金、國庫交付金一六、九二六圓)

患者治療費一日當リ 三十一錢

二、<sup>恩賜</sup>財團 濟生會委託診療

濟生會委託醫療券ノ利用ニ付テハ從來、都市方面ニ於テハ徹底シタルモ農山村等僻地ニハ尙充分ナラズ醫師會等ノ委託契約關係ニモ改正ヲ要スルトコロアリシ爲先般御下賜金、並國庫交付金ノ配當ヲ受クルニ際シ不徹底ナル點ヲ刷新シ各醫師會委託契約並ニ名古屋醫科大學委託契約ニヨリ市町村方面委員等ト連絡シ縣下全般ニ亘リ農山漁村ニ對シテハ此レガ普及徹底ヲ期シタリ其ノ結果醫療券ノ發行日ヲ追フテ増加シ益々委託ニヨリ救療ノ實績ヲ擧ゲツ、アリ。

イ、醫師會ニ對スル委託

本縣ト縣醫師會トノ契約ニ依ル醫師會ハ所屬郡市醫師會ノ會員全部ヲシテ委託ニ依ル醫療ヲ行ハシメ醫療委託料ハ日本醫師會健康保險點數計算規程ニ依ル點數ニ依リ計算シ一點ノ單價ヲ十錢トセリ(健康保險ノ平均額ハ一點十五錢強ナリ)。

ロ、齒科醫師會ニ對スル委託

醫師會ニ準ジ健康保險法ニ依ルモノ概ネ五割減ヲ標準トシ附屬醫院ト契約セリ。

ハ、名古屋醫科大學ニ對スル委託

名古屋醫科大學ニ對スル委託ハ入院ヲ主トシ入院料(診察、投藥、注射、處置、手術等一切ノ治療並ニ寢具賄及其ノ他設備ノ使用ヲ含ム)一日ニ付一圓トシ平均四〇名ヲ委託セリ

ニ、成績

患者實人員 一、六〇六人

治療 延日數 三四、一八六日

ホ、經費

經費 決算 一四、四三一圓

治療費一日當リ 四十二錢

三、救急箱事業

僻阪地ニシテ巡回診療委託診療ノ救療シ得ザル四十五村百二十ヶ所ニ救急藥品治療材料用法ニ示シタル箱ヲ設備シ區長、駐在巡查等ニ於テ之ヲ管理ス。

昭和七年度成績

利用患者實人員 五、四一七人

治療延日數 七、二六四人

經費 決算 二、〇五一圓

静岡縣

本醫療救護施設ハ<sup>恩賜</sup>財團 濟生會委託救療ノ後ヲ受クルト雖實施後日尙淺クシテ諸般ノ事務ニ付不慣ノ點アリシ爲所期ノ如キ成果ヲ得ザリシモ之ガ半歳ヲ閱シタル八年度ニ於テハ其ノ成績大ニ期スベキモノアリ、特ニ醫師ナキ町村ニ設ケタル本縣出張診療所ニ就テハ其ノ設備ヤ簡ナリト雖之ガ施設ノ點ニ於テ設置町村ヲシテ其ノ居ニ安ンゼシメタル大ナルモノアルヲ見ル。

山梨縣

一、行政方針ノ中心思想

如何ニセバ適切正當ナル應急處置ヲ得ルカト云フ點ニアル理由

本事業ガ臨時短期ノモノナルヲ以テ恒久的ニ一貫セル主義又ハ方針ヲ基調トスルヨリハ寧ロ拙速ノ譏アルモ長キ過去ニ於テ醫療ニ恵マレザリシ者ヲ適切正當且ツ應急的ニ救療スルヲ優レリトス。

二、救療ノ人的對象

貧困者ニ限ル即チ特別稅戶數割一戶當平均賦課額ノ四分ノ一以下ヲ負擔スル世帯ヲ原則トシ特別事情ニヨリ市町村長ニ於テ

右ト同程度ノ者ト認メ知事ニ申請承認ヲ得タル者、是レニ關シテハ豫算上ノ制限ニ依ルハ勿論右ノ標準ヲ以テ要救療者ノ對象トスルヲ適切ト思考ス。

三、救療上ノ土地的對象

從來特ニ醫療ニ惠マレザル僻陬地ヲ主トシ都市ヲ從トス。

理由、聖旨ニ基クハ勿論醫療ノ不公平ナル分布ヲ除正セントス。

四、既存救療施設トノ關連

他ノ法規並救療團體ノ救療ヲ受ケ得ルモノハ之ニ據ラシメ然ラザルモノニ就キ本救療ヲ行フ。

理由、救療施設ノ調整アル運動ヲ期ス。

五、既存醫療機關ノ活用

醫師會、藥劑師會ト協定シ委託、出張診療、調劑ヲ爲サシム。

六、救療事務運用ノ方法

市町村長ヲシテ治療券交付、救療開始廢止往診、承認、入院申請等ニ付責任ヲ以テ之ヲ行ハシム而シテ之ガ補助機關トシテ方面委員ヲ活用ス。

理由、本事業ハ尤モ良ク實生活ヲ調査シ之ニ則ス可キヲ以テ實情ヲ悉知スルモノヲシテ直接的事務ヲ行ハシムルヲ適當ト認

ム。

滋賀縣

醫療救護ハ日本赤十字社滋賀支部ニ委託シ昭和七年十月ヨリ醫師一名看護婦二名ヲ以テ組織スル二箇ノ巡回診療班ヲ常置シ左記各擔當區域ノ一村ニ付毎回治療日數一日乃至二日トシ概ネ三ヶ月ニ全區域四回ノ巡回診療ヲ實施セリ而シテ診療區域ノ各村ハ何レモ縣下ニ於ケル最僻陬ノ山村ニシテ從來醫療ノ恩惠ヲ受ケタルコトナク且經濟的ニモ亦疲弊セル爲本施設ニ對シ一入歡

喜ヲ以テ迎ヘ只管 聖恩ニ感激シツ、アリ。

一般住民ハ衛生思想乏シク診療ヲ受クルニ就テモ亦其ノ要領ヲ得ザルモノ多ク爲ニ診療上説明等ニ意外ノ手段ト時間ヲ要シ殊ニ開設頭初ハ診療ノ結果何等ノ症狀ヲ認メザル者ガ慢然診療ヲ求ムルモノ相當多數ニ上リ限リアル日時ノ間ニ於テ診療實施上支障尠カラザリシモ診療班員ノ熱誠努力ニ依リ漸次衛生智識向上シ順調ニ診療施行スルコトヲ得ルニ至レリ當年度間診療實施延日數百九十二日トス。

記

甲班 佐山村、鮎河村、朝宮村、多羅尾村、劔熊村、三谷村

乙班 東草野村、杉野村、丹生村、芹谷村、脇ヶ畑村、大瀧村

岐阜縣

本縣ハ山間僻陬ノ地多ク醫師ナキ村百七ヶ村醫師所在地ヨリ三里以上ニ亘タル村十二ヶ村、一里以上五十二ヶ村及濟生會ノ無料診療券ノ利用モ殆ンド不可能ナル情勢ニアルヲ以テ巡回班ヲ組織シ各々其ノ區域ヲ定メ一ヶ月以内ニ其ノ區域ヲ一巡セシムベク計畫シ居ルモ其ノ區域ニハ山村僻陬地多キ爲メ豫定ニ多少ノ變更ヲ免レザルヲ遺憾トシ依テ地方開業醫及村當局ヲ從進シ簡易ナル出張診療所ヲ四十ヶ村ニ設ケシメ以テ診療能率増進ヲ計リ豫期以上ノ成績ヲ擧グルニ努力シ居リテ 聖旨ノ對揚ニ遺憾ナキヲ期ス。

長野縣

縣下醫師ナキ町村百十八ヶ町村ノ中最モ山間僻地ニ位スル三十五ヶ村ヲ選ビ之ニ巡回診療所ヲ設置シ五班ノ巡回診療班ヲシテ分擔救療セシメ之等ニ亞グ僻陬村ニシテ事情稍々コレヨリモ良好ナル三十ヶ村ニ出張診療所ヲ設置シ近接市町村在住ノ醫師ヲ囑託出張セシメ又前二者以外ノ一般市町村ニ對シテハ 財團 濟生會診療券ノ交付範圍ヲ擴大シテ診療ノ機會ヲ均等ナラシムル計畫ヲ樹テ客年十月上旬一齊ニ之ガ實施ヲ見ルニ及ビタル處、山間僻地ノ住民ニ於テハ初メテ醫師ニ接スルヲ得タル者多ク何レ



モ多大ノ感謝ト感激トヲ以テ迎へ再ビ健康者トシテ立タバ身ヲ以テ 皇恩ノ厚キニ報ヒ奉ラント誓ヒ、或ハ年來公租公課ヲ忘納シ公民ノ義務ヲ果サ、リシ者ガ愧ジ改ムル等、思想方面ノ感化ハ寔ニ大ナルモノアリ就中醫療ノ效果ニ於テハ頗ル好結果ヲ齎シ、患者ハ負擔ノ顧慮ナク直ニ診療ヲ受ケ得ラル、ヲ以テ比較的早期ニ診療ヲ受ケ又一面高價藥ヲ使用シ醫藥ニ慣性ナキ患者ニ治療ヲ加フル爲回復速カナルモノアリ、之ガ繼續實施ヲ望ムノ念極メテ切ナルモノアリ、各種匡救事業中稀ニ見ル適切ナル施設ト謂ハムモ過言ニ非ラス。

尙取扱患者數ニ就テ附記セムニ本縣ニ於テハ當初可及の速ニ診療ヲ開始セムト最大ノ努力ヲ拂ヒタル結果、診療開始勿々ノ際ニモ尙多數ノ診療ヲ行ヒ漸次趣旨ノ普及ヲ見ルニ從ヒ逐月受診者増加ノ狀況ヲ呈シ、年末年始ニ於テハ他ノ一般機關ト同様一定期間診療ヲ休止シタルニモ不拘診療醫ハ自發的ニ診療日ヲ繰返へ診療回数ヲ減ゼザル様努メタルモノ多ク診療成績ハ些カモ他ノ月ニ比シ遜色ナキヲ得タリ。

一月二月ニ至リテハ最寒期ナル爲呼吸器系ノ患者増加シタルモ總括的數字ニハ増加ナク却テ減少ヲ示セルハ積雪ノ爲交通杜絶シ已ムナク診療ヲ休止セル個所(巡回診療)アリタル爲ナランカ。

乍然<sup>恩賜</sup> 濟生會診療券ニ依ル患者ノ甚ダシク増加セルハ二月初旬縣下各地ニ於テ開催セル市町村社會事業主任會議ノ結果一段ト趣旨ノ徹底ヲ見漏救ナキ様相成タル結果ナリト思料ス。

宮城縣

一、縣下一市二〇一ヶ町村中昭和七年度ニ於テ<sup>恩賜</sup> 濟生會ヲ通ジテ外來患者ニ對シテ診療ヲ行フベキ町村ハ一市一六〇ヶ町村ニシテ内實施シタルハ一市一四七ヶ町村ナリ(四一ヶ村ニハ縣立診療院又ハ出張診療所設置シアル關係上外來患者ニ對シテハ診療ヲ行ハズ)但シ入院患者ニ對スル診療ハ全縣下ニ施行セリ。

二、本縣ニ於テハ十月ニハ外來實患者一一五名、入院實患者三二名ニ過ギザリシモ漸次患者増加シ三月ニ於テ外來實患者三二〇名入院實患者一一四名往診治療ヲ受ケタル患者三八名ヲ算シ之ヲ本年度末ニ於テ見ルトキ實ニ外來患者延人員二五、八一

三名入院患者延人員ニ於テ九、〇五一一名往診治療ヲ受ケタル延人員一、六〇七名ノ多數患者ヲ診療セリ斯クシテ本救療事業ハ汎ク普及徹底シ其實績大ニ見ルベキモノアルニ至レリ。

三、前記ノ如ク救療範圍ハ十月ヨリ三月迄ニハ殆ンド全縣下ニ亘リ受診者ト否トヲ問ハズ縣民均シク 聖恩ノ無窮宏大ナルニ益々感激シ居ル状態ナリ殊ニ患者ニシテ治療中感激ノ餘ニ朝夕遙カニ皇居ヲ拜シテ感泣シ居ル者アルヤニ聽ク、誠ニ難有施設ナリト謂フベシ。

四、本年度配付ヲ受ケタル診療費ニ於テ不足ヲ來タシタル爲<sup>恩賜</sup> 濟生會ノ普通救療費及臨時救療費ヲ充當シタルモ尙不足ヲ生ジタル狀況ナリ。

福島縣

昭和七年度本縣ニ於テハ二萬三千四百七十圓ノ多額ノ御下賜金ヲ拜受シ之ニ同額ノ國費二萬三千四百七十圓ノ配當ヲ受ケ百五十萬縣民ハ此ノ 聖恩ニ感激シ以テ官民一致慎重協議ヲ遂ゲ縣費支出七千五百圓ト更ニ日本赤十字社福島支部ヨリ四百八十圓ノ交付ヲ受ケ合計五萬四千九百二十圓ノ醫療救護費ヲ以テ縣下ノ實情ニ順應シ最モ有効適切ナル施設トシテ醫師一名藥劑師一名看護婦一名及書記ヲ一班トスル巡回診療班四班ヲ組織シ自動車ヲ利用シテ開業醫師ナキ農山漁村百十八ヶ村ニ對シ四十日ニ一回ノ豫定ヲ以テ診療ヲ實施セル處アリシモ會津地方ハ積雪ノ關係ニテ自動車ヲ使用シ得ズ爲ニ診療班ハ徒步ニテ巡回診療ニ從事スル關係上豫定村ヲ診療スル能ハザルヲ慮リ大沼、耶麻、南會津ノ三郡ノ内十六ヶ村ヲ當該郡醫師會ニ出張診療ヲ委託シ巡回診療出張診療ニヨル取扱患者實人員三萬四人、治療延二十六萬四千九百三日ニ達シタリ而シテ本施設中ニ結核患者十名宛ヲ縣立回春園ニ於テ療養ヲ計畫セシ處其取扱患者實人員十六人延一千五百二十一日ヲ治療シ醫師ナキ農山漁村ニ於ケル窮民救療ノ實ヲ擧ゲタリ。

一方<sup>恩賜</sup> 濟生會ヲ通ジテ國費二萬圓ノ配當在リタルヲ以テ更ニ救療事業ヲ擴大シ普ク救療ノ方途ヲ講ズベク治療券ノ發給ヲ警察署、警部補派出所、巡查部長派出所、巡查駐在所ニ限定セズ市役所、町村役場、共濟委員ニモ交付セシムルコトトナシタル

結果患者取扱實人員四千八百二十八人治療延四萬九千八百一日ニシテ前掲救療患者ト合スル時ハ其ノ取扱患者實人員三萬四千八百四十八人治療延日數三十一萬六千二百二十五日ヲ算スルノ實情ニシテ縣民ハ普ク 聖恩ノ鴻大無邊ナルニ感激シ醫藥給セザル窮民救療ノ實績ヲ擧ゲタルモノ實ニ甚大ナルモノアリ。

岩手縣

- 一、救療趣旨ノ普及徹底ニ關シテ各種ノ方法ヲ講ジタリ。
  - 二、要救療者ノ資格ヲ定メ救療券ノ交付ニ關シテ遺憾ナキ方法ヲ講ジタリ。
  - 三、各種醫療機關トノ連絡協調ヲ圖ルニ努メタリ。
  - 四、委託診療ヲ主トシ 恩賜 財團 濟生會ヲ通ジテ行ヒタリ。
  - 五、必要ノ箇所ニ出張診療所ヲ設ケタリ其數四十四。
  - 六、巡回診療班一班ヲ設ケ隨時必要ノ地ヲ巡回シ漏救者ナカラシメト期シタリ。
- 凶作ニ次グニ震災アリ縣民全體疲弊困憊ノ極ニ達セル折柄ニ付キ特ニ 皇恩ニ感泣シ國ノ施設ニ感謝セザル者ナシ。

青森縣

本救療ハ委託、出張、巡回診療ノ三種ニシテ委託診療ハ縣下ノ開業醫師ニ委託シテ昭和七年十月一日ヨリ昭和八年三月三十一日迄施行セリ、出張診療ハ醫師在住無キ村ニ開設シ該村ノ最寄開業醫師ヲ以テ昭和八年二月及同年三月迄二ヶ月間降雪期ニテ村落ノ交通機關ナク最モ不便ナル三十三ヶ村ニ對シ每週一日施行セリ、巡回診療ハ昭和七年十月ニ於テ二十ヶ村十一月十五ヶ村昭和八年一月十一ヶ村ニ對シ一ヶ村三日間ツツ更ニ同年二月及三月ハ降雪期ニテ村落ノ交通機關無ク最モ僻陬部落ノ二十ヶ村ニ一ヶ部落二日間ツツ當廳衛生課員ヲ以テ診療班ヲ組織シ二ヶ班ニテ施行セリ。(班員ハ「スキー」ヲ利用セリ)

山形縣

(一) 御聖旨ノ徹底ト事業計畫

1. 御聖旨ノ徹底

御下賜金御沙汰ノ通知ニ接シ當時開催セル市町村長會議ニ於テ知事ヨリ直チニ 御聖旨ヲ傳達シ一般縣民ニ周知方ヲ指示ス尙本縣臨時縣會、本縣醫師會總會並評議員會、本縣藥劑師會、衛生主任會、男女青年團總會其ノ他各種會合ニ於テ御聖旨ノ徹底ヲ期スルト共ニ各報導機關ヲ利用シ一般ニ周知方ヲ計リタリ

2. 恩賜特別救療計畫

本計畫ヲ樹テシガ爲左記關係者ノ會合ヲ數回重ネ慎重協議ノ上御下賜金壹萬五千貳百圓及國庫交付金壹萬五千貳百圓合計金參萬四百圓中金貳萬壹千圓ヲ 恩賜 財團 濟生會ニ依託シ同會從來ノ方法ニ依ラシメ、金九千四百圓ト之ニ縣費金貳千圓ヲ支出シ合計金壹萬壹千四百圓ヲ以テ僻陬地ニシテ醫師ノ居ラザル村約二十ヶ村ヲ選定シ縣ニ於テ巡回診療ヲ行フコトトセリ、恩賜特別救療計畫協議會出席關係者左ノ如シ

內務部長、警察部長、學務部長、衛生課長、社會課長、庶務課長、地方課長、學校衛生技師、恩賜財團濟生會、山形縣醫師會、山形縣藥劑師會、山形縣齒科醫師會、大日本赤十字社山形支部、山形縣產婆會

3. 山形縣振興委員會救療事業

救療ノ萬全ヲ期センガタメ本縣振興委員會ニ救療事業部ヲ設ケ救療實施ニ關スル協議機關トナシタリ

秋田縣

町村長小學校教員方面委員衛生組合長等ト協力ノ上實地調査ノ上ニ要救療者名簿ヲ作成シ之ヲ町村役場、警察署、巡查駐在所ニ備付各種團體トモ連絡ヲ採リ御趣意ノ普及徹底ニ努メタル結果、日ヲ追フテ救療ヲ受ケルモノ多ク成績良好ニ向ヒツ、アリ。

福井縣

御下賜金並ニ國庫交付金ニ依リ恩賜醫療救護規程ヲ公布シ醫療ノ資ニ乏シキモノ等ニ對シ警察署長、町村長ト協調ノ上醫療券ヲ交付シ左ノ通り救護ヲ實施セリ。

- 一、委託診療 縣内公私立病院へ一般診療ヲ委託シ醫療ヲ爲シタリ
- 二、出張診療 醫師ナキ村三十九ヶ村へ最寄醫師ヲシテ出張所ヲ設置セシメ毎月六回宛出張診療ヲナシタリ
- 三、巡回診療 出張困難ナル僻陬地タル五ヶ村へ醫師一名調劑員一名看護婦一名巡回診療班ヲ以テ毎月三回宛巡回診療ヲ爲シタリ

石川縣

實施方針ハ之ヲ財團 濟生會ヲ通ジ石川縣醫師會員竝ニ縣内ニ於テ開業セル齒科醫師、藥劑師及產婆ニ委囑シ救療券制度ニ依リタリ本救護ニ於テ町村長ノ認定セル要救護者(戸數割平均五分以下ニシテ醫療ニ窮スルモノ)ハ二六、七二三戸(全戸數ニ對シ二二・六九%)一二〇、二六三人(全人口ニ對シ一九・四二%)ニ上レリ。

事業開始當初ノ十月及十一月ニ於テハ本救療ノ趣旨十分徹底セズ取扱患者數亦尠カリシ狀況ニ鑑ミ十一月中旬ニ於テ本救療ニ關スル趣意書ヲ縣下全戸ニ對シ方面委員又ハ區長ヲ通ジ本事業ノ趣旨ヲ傳ヘシメ且ツ十一月十二月兩月ニ亘リ社會課員全員ヲシテ全町村ニ付役場吏員ヲ督勵シ趣旨ノ徹底ヲ盡リタリ。

右ノ結果ハ十二月以降急激ニ患者取扱激増シ三月ニ入りテハ豫算ヲ超過セントスルノ傾向ニアリ治療券ノ配布ヲ一時停止シ且町村長ヲシテ患者ノ取扱ヲ嚴選セシムルノ已ムナキニ到レリ此ノ間縣ハ方面委員會等ニ於テ特ニ御聖旨ヲ奉體シ御聖恩ニ奉ジマツル様村民ノ教化ニ努メタリ。

出張診療ハ縣内二十ヶ村ノ僻陬地ノ醫師不在ノ村ニ付選定シ最寄ノ醫師ニ付月四回ヲ限度トシ出張診療ヲ實施シ極メテ顯著ナル效果ヲ擧ゲ得タルモ本年ハ冬期降雪多ク診療所ヲ開設シ得ザル村二ヶ村アリタルモ村民ハ極力醫師ノ爲ニ便宜ヲ計リテ來診ヲ需メタリ。

一般治療ニ關シテハ縣ヨリ町村へ普通治療券ノ交付數一萬三千枚ニ上リ町村ヨリ患者ニ交付セシ枚數九千五百枚ニ達セリ處方箋ニ依リ調劑セル狀況ハ藥劑師所在ノ關係ニテ概シテ都邑近傍ニ限ラレ利用狀況ハ不成績ナリキ。

助産ニ於テハ各町村共ニ極メテ便宜ヲ與ヘ助産救護ノ出願セルモノハ八十有餘ニ上リ相當效果ヲ擧ゲ得タリ。

富山縣

醫師、助産婦、看護婦各壹名ヲ以テ組織スル普通班三班ニ醫師、調劑員、助産婦、看護人各壹名ヲ以テ組織スル自動車班一班ノ計四診療班ヲ以テ十月一日ヨリ一齊ニ巡回診療ヲ開始セルニ、打續ク不況ニ困窮シ、病患ニ惱ム無告ノ窮民ハ旱天ニ慈雨ニ接スルガ如ク、連日各班七八十名ヲ下ラザル多數ノ患者アリ夜間十時過グルマデ診療ヲ續ケタルコト屢々アリテ診療第一ヶ月間ニ於テ實ニ五千七百八十七人ノ多數ノ患者ヲ診療シタリ。

其ノ後従事員ノ活動ト趣旨ノ普及徹底ト相俟ツテ縣民ノ大ナル歡迎ト感謝ヲ受ケツ、昭和七年度ノ診療ヲ終ヘタリ。其ノ間診療シタル患者ハ一萬六千七十三人ノ多數ニ上リ縣民等シク 皇恩ノ忝サニ感泣シツ、アル状態ナリ。

鳥取縣

醫療救護實施ノ趣旨ヲ普及徹底スルコトニ關シ最善ノ方法ヲ講ジテ萬遺算ナキヲ期スルト共ニ醫療機關ノ關係團體トノ聯絡協調ニ關シテモ遺憾ナキ方法ヲ取リタリ。

實施ノ方法ハ御下賜金モ國庫交付金モ合セテ全部財團 濟生會ヲ通ジテ行フコトニ定メ治療券ヲ發行シ全縣下ニ委託診療ヲ行ヒ且ツ醫師ナキ僻地ニハ出張診療所ヲ設置シタリ。

全縣下殊ニ農漁山村ニ於テハ治ク惠澤ニ浴シ 聖恩ノ無限ナルニ感激シテ其成績大ニ見ルベキモノアリ。

島根縣

一、恩賜救療事業ノ實施ニ際シテハ縣下警察署長市町村長ヲ召集ノ上 御聖旨傳達ニ併セテ實施ニ必要ナル事項ヲ訓示シ且ツ印刷物ト爲シタル傳達書ヲ全縣下各戸ニ漏レナク配布シ以テ本事業ノ普及貫徹ヲ盡リ警察署長、市町村長、方面委員、協力慎重ニ醫療要救護者ノ基本調査ヲ爲サシメ其ノ基礎ニ依リ之ガ名簿ヲ設備シ市町村長ハ原本ヲ其ノ副本ヲ警察署長等ヲシテ管掌セシメ尙要救療上必要程度ノ名簿ヲ市町村長ヨリ關係市郡醫師會員ニ配布シ緊密ナル連絡協調ヲ保持セシメ以テ罹病者

ノ救療上完壁ヲ期シ漏救者ナカラシムルハ勿論溢救ヲ防止シ圓滿ナル救療ノ效果ヲ上グルニ格段ノ努力ヲ拂ヒツ、アリ。  
二、醫師ナキ町村ニ於ケル出張診療所開設中ハ關係町村吏員ハ勿論管區受持巡查ヲ必ズ立會セシメ患者ノ取扱ヒ及診療上遺憾ナキヲ期シツツアリ。

三、患者診療ノ成績ハ何レモ良好ナル轉換ヲ見ツ、アリト雖多數患者中ニハ不幸夭壽ヲ完ウシ得ザリシモノ或ハ繼續治療中ニ屬スルモノアリ。

四、以上ノ受療患者ハ何レモ 聖恩ノ厚キニ感泣シツ、アリ。

### 岡山縣

昭和七年九月醫療救護事業實施ニ先ダテ縣下ニ於ケル醫療分布ノ状態ヲ調査シ醫師常在スル市町村及醫師常住セザルモ交通便利ニシテ速ニ醫師ノ診療ヲ受ケ得ル町村ニ對シテハ委託診療ヲ醫師常在セザル町村ニシテ救療ヲ行フニ不便ナル三十四ヶ村ニ對シテハ出張診療ヲ醫師常住セザル町村ニシテ出張診療ヲモ行フニ不便ナル十二ヶ村ニ對シテ巡回診療及私設救療團體ニ對シ一層救療ノ實ヲ舉ゲシムル爲ニ助成金ヲ交付スルノ四方法ニ依リ實施スルコトトシ直ニ岡山縣醫師會及岡山縣藥劑師會ト交渉シ診療報酬及藥價ノ協定ヲ爲シ事業實施上萬全ヲ期セシムベク市町村長、警察署長濟世委員、私設救療團體等ニ通牒ヲ縣下各開業醫師、藥劑師ニ協力方ニ關シ依頼狀ヲ且ツ特殊處置ヲ必要トスル患者ニ對スル用意トシテ岡山醫科大學附屬醫院及日本赤十字社岡山支部病院ニ依頼狀ヲ發スル等本事業實施ニ關シ必要ナル萬般ノ準備ヲ爲シ委託診療ニ付テハ十月十八日、出張診療ハ十月二十六日、巡回診療ハ十一月十一日ヨリ實施ヲ爲セリ。

縣下農漁山村及中小商工業者ハ經濟界不況ノ影響ヲ受ケ疲弊困憊ノ極ニアリ、而モ窮民ニシテ醫療ヲ受クルコト不能ノモノ多數アリ依テ市町村長、警察署長、濟世顧問、濟世委員會ヲ督勵シ或ハ各郡市毎ニ市町村長、警察署長、醫師會長等ヲ集メ打合會ヲ開催シテ關係者ノ聯絡ヲ盡ル等極力之ヲ趣旨ノ普及徹底ニ努メタル結果圓滑ナル救療ヲ爲スコトヲ得本年度中ニ於テ八千六百九十七人ノ多數ノ貧困病者ノ救療ヲ爲スコトヲ得タリ。

然シテ右救療者中地方ニ於テハ治療上不便ヲ感ズル患者ニ對シテ岡山醫科大學附屬醫院及日本赤十字社岡山支部病院ニ入院治療セシメ及巡回診療村ニ於ケル患者中ニハ専門的診療ヲ要スルモノ多數アルニ鑑ミ巡回診療村ヲ中心ニ最寄町村ノ要救療者ヲ集メ眼科及耳鼻咽喉科ノ特別診療ヲ實施シ七百拾四名ヲ診療セリ。

醫療救護事業實施ニ當リテハ 御聖旨ヲ奉體シ内務省ヨリ交付ノ醫療救護費ノ趣旨ニ鑑ミ關係者ヲ督勵シ最善ノ努力ヲ以テ縣下貧窮患者ノ救療ニ遺憾ナキヲ期シタルヲ以テ要救療者一同 聖恩ノ厚キニ感激シ縣民ノ氣力ヲ振作シ協力一致自力更生ノ途ニ精進スルヲ得タリ。

### 廣島縣

#### 一、診療成績

縣下四市ニ對シ方面委員一人ニ付一〇枚宛三、四二〇枚、三七二ヶ町村ニ對シ五五、六八二世帯分一六七、〇四六枚ヲ配付シ其ノ診療券ノ内三月末日迄ニ使用セシモノ四市一、三一四枚、三七二ヶ町村二五、〇八九枚ニシテ内廣島縣醫師會取扱ノ分二一六、二五五枚、廣島縣齒科醫師會取扱ノ分一四八枚ナリ、又醫師ヨリノ請求總點數八六五、四三九點ニシテ査定點數六九五、八二二點ナリ又一點ノ單價三錢三厘ニシテ一人一日當五錢五厘ナリ。

#### 一、出張診療所

縣下四十二ヶ村ニ於ケル出張診療所取扱患者左ノ如シ。

- 有料患者實人員 六、二七一一名
- 恩賜救療患者實人員 二、八五三名
- 濟生會取扱患者實人員 八名
- 救護法取扱患者實人員 五名

### 山口縣



御下賜金及國費ノ醫療救護費ニ依ル救療ハ左ノ三種類ニ之ヲ實施セリ。

委託診療 恩賜 財團 濟生會ニ委託シテ行フ

出張診療 縣直營トス

巡回診療 日本赤十字社山口支部ニ委託シテ行フ

一、委託診療

普遍的ニ救療ヲ實施セシムル爲救療費ヲ各市町村ニ割當テ市町村長ニ於テ之ノ割當額ニ達スル迄救療ヲ實施セシムルコト、セリ、然シテ當初十月ニ於テハ救療狀態豫期ニ達セザリシモノ十一月以降趣旨ノ徹底ニ伴ヒ救療患者増加シ三月末日ニ於テ累計治療日數五萬一千五百二十九ニ及ビ豫定ノ救療ヲ實施スルヲ得タリ。

二、出張診療

縣下醫師ナキ部落島嶼中交通不便ニシテ平素醫療ニ惠マレザル地三十八ヶ所ヲ選ビ出張診療所ヲ設置シ診療醫ハ郡醫師會長ノ推薦シタル醫師ニ委託シ毎月三回宛出張診療ヲ實施セリ、然ルニ月三回ノミニテハ中間期間長キ憾アルヲ以テ二月ハ四回三月ハ五回ニ増加シ救療ノ徹底ヲ期シタリ然シテ二月、三月ニ於テハ臨時出張診療所十五ヶ所ヲ設ケタルヲ以テ救療患者激増ヲ來セリ。

三、巡回診療

醫師ナキ部落島嶼中交通不便ノ地ニシテ出張診療ヲ實施セザル所ニ巡回診療月二回宛實施スルコト、シ十月十一月ハ十五ヶ所十二月一月ハ三十五ヶ所二月三月ハ七十六ヶ所ヲ實施セリ而シテ巡回診療受託者タル日本赤十字社山口支部ニ對シテハ委託料三千圓ヲ支拂ヒタルモ同支部ニ於テハ六ヶ月間ニ巡回診療ニ要シタル總經費ハ八千五百六十圓ニ及ベリ

和歌山縣

昭和七年度ニ於テ匡救醫療施設實施セラル、ヤ貧困ニシテ醫藥ヲ求ムルノ資ナキモノ 聖恩ノ有難キニ狂喜シテ救療ヲ受ケ醫

師モ亦此ノ趣旨ヲ奉戴シ親切ニ患者ヲ取扱ヒ相當效果ヲ收メ得タリ。

徳島縣

一、委託診療

委託診療ハ各郡市醫師會員ニ救護患者ヲ委託シ縣醫師會トノ協定額ノ範圍内ニ於テ救療セシムルモノニシテ本縣ニ於ケル醫療救護ノ殆ンド全部ハ本施設ニ依ルモノナリ。  
藥劑師會ニ依ル處方箋交付數ハ僅ニ三名ニ過ギズ。  
齒科醫師會ニ依ル齒科診療ハ皆無ナル狀態ナリ。

二、出張診療

出張診療ハ十ヶ村ヲ選定シ管轄醫師會ニ委嘱シ會員中ヨリ適任者ヲシテ出張診療醫ヲ擔任セシメ毎月六回但シ二ヶ村ハ極メテ遠隔セル僻阪地ニ付三回出張診療ヲ爲セリ。

本施設ハ山間部ノ醫師ナキ村及醫師ニ甚シク不便ナル村ニ實施セルモノニシテ一般住民ニ對シ絶大ノ歡喜ト利便ヲ與ヘ要救療者ノミナラズ一般村民ニ對スル輕費診療ニ依リ醫療施設ノ缺陷ヲ補足スルコトヲ得タリ。

三、上述ノ項目、方法ニ依リ醫師會、市町村及警察官吏方面委員等ト協調實施セル結果別項醫療救護ニ關スル諸表中ニ揭示セルガ如キ成績ヲ得相當社會ノ要望ヲ滿シ、所期ノ目的ニ近キモノヲ得タリト確信ス、殊ニ特記スベキハ御下賜金ニ依ル施設ナルコトヲ強調シ診療券モ恩賜治療券ナル名稱ヲ用ヒ被救療者ニ卑屈ノ感情ヲ起サシムルコトナク 聖恩ノ無限ナルヲ體得セシムルト共ニ醫師ニ對シテモ犠牲的精神ヲ振起セシメ兩者ノ感情融然トシテ調和シ在來民種事業ニ隨伴スル缺陷ト思惟セララル治療上ノ暗影ヲ艾除シ眞ニ窮民ニ對スル醫療救護上ノ黎明期ヲ招來シタルモノニシテ其結果治療成績大ニ擧リタルモノアリト思料サル。

香川縣

一、<sup>財團</sup>濟生會救療事務ハ警察部衛生課ノ主管事務トナシ縣下十七警察署ヲシテ取扱ヲナサシメツ、アルガ今回ノ醫療救護ニ關シテハ特ニ深甚ナル考慮ヲ重ネタル結果御下賜金、國庫金共全額<sup>財團</sup>濟生會救療費ニ繰入在來ノ事業ヲ擴張シ救療券ニ依リ既設ノ醫療機關タル縣下ノ開業醫師並藥劑師及公私立病院ニ委託シテ普ク醫療救護ノ徹底ヲ期シタリ。

一、救療ヲ受クベキモノハ本縣住民ニシテ醫藥ヲ得ルノ資力ナキ傷病者タルヲ本體トシ無告ノ窮民ノ救護ニ意ヲ注ギタル結果相當多數ノ患者ヲ救療シタリ。

一、救療費ニ付テハ細心ノ注意ヲ拂ヒ縣下各市町村ニ於ケル要救療人員ノ數ニ應ジテ按分ノ上夫々所轄警察署ニ豫算ヲ配付シ其ノ範圍内ニ於テ救療ノ徹底ヲ期スベク指示監督シタリ。

一、今回ノ醫療救護實施ニ當リテハ特ニ普及徹底ヲ期スル爲救療事業ニ關スル參考事項ヲ集録シタル「救療ノ乘」ナルモノヲ發刊シ各關係者並取扱者ニ送付シテ執務ノ便ニ供セシメタルノ外縣衛生課係員ヲ各警察署並町村役場ニ派遣シテ指導講話及督勵ヲナサシメ又一面市町村長、方面委員並醫師、齒科醫師、藥劑師等ト緊密ナル連絡ヲ保チ救療ノ實績ヲ擧グルニ努メタリ

一、救療費支拂ニ當リテハ各郡市醫師會ニ於テ相當審査セラレタルモ時ニ縣衛生技師一名ヲシテ專任之ニ當ラシメ不遜ノ請求ヲナセルモノヲ審査セシメタルノ外實地ニ患家並醫師會ヲ訪問シテ調査スル等嚴正ナル處置ヲ採リタル爲各醫師ヨリノ請求總額ヨリ約一割ノ減額ヲ爲シタリ。

一、救療患者ニハ慢性的疾患最モ多ク呼吸器系ノ疾患亦相當アルハ注目スベキモノナリ、而シテ救療セシ患者ハ何レモ全治又ハ輕快スルニ至リ患者並ニ家族ハ勿論一般民ニ於テモ 聖恩ノ有難サト政府ノ施設ニ感泣シ居レリ。

愛媛縣

本縣ニ於テハ救療ノ實績ヲ擧グル爲メ實施ノ當初各警察署別ニ醫療救護ニ關スル打合會ヲ開催シ市町村關係吏員並ニ警察官吏ニ對シ本事業ニ就テノ知識ノ普及徹底ヲ圖ルト同時ニ關係令規採集ボスター等ヲ印刷シテ各市町村ニ配布スル等 聖旨ノ發揚ニ努メタル結果其ノ實績稍見ルベキモノアリ即チ委託診療ニ在リテハ豫算一六、九九一圓中僅ニ一二二圓ヲ餘スノミニテ又出張診療ニ於テモ相當ノ成績ヲ擧グルヲ得タリ。

高知縣

一、委託診療

救療券及助産券ヲ發行シ市町村長ニ於テ方面委員警察官吏ト協力シ市町村ノ住民ニシテ疾病傷痕出産等ノタメ診療又ハ手當ヲ要スルモ貧困ニシテ之ガ途ナキ者ニ發給シ醫師會員、齒科醫師會員、藥劑師會員、產婆會員若クハ救療事業ヲ實施シツ、アル社會事業團體(高知慈善協會、基督婦人矯風會高知支部、日本赤十字社高知支部病院)ニ委託診療セシメシ患者ハ實人員一、〇九四人延人員二四、三三三人ニシテ<sup>財團</sup>濟生會ヲ通シテ救療セル患者ハ實人員一二八人延人員四、五七六人ニシテ醫療ノ普及徹底上相當效果ヲ擧ゲタリ。

二、出張診療

特ニ僻陬ニシテ醫療ノ便ナキ九ヶ村(幡多郡富山村、橋上村、三原村、高岡郡長者村、大桐村、長岡郡吉野村、香美郡上生村、安藝郡東川村、北川村)ニ對シ近接セル町村ノ開業醫ニ委嘱一ヶ月三回乃至六回ノ出張診療ヲ爲サシメ救療患者並一般患者ノ診療ニ從事セシメ取扱患者數、救療患者八四人、一般患者三七二名ニシテ醫療ノ普及上相當ノ效果ヲ收メタリ。

三、巡回診療

縣醫師會及日本赤十字社高知病院ノ協力ヲ得テ三月中縣下開業醫ナク且僻陬地ニシテ醫療ニ不便ナル町村中出張診療施設村ヲ除キタル二十ヶ村(安藝郡中山村、畑山村、馬上村、羽根村、香美郡、曉霞村、西川村、長岡郡瓶岩村、上倉村、高岡郡川内村、能津村、吾川郡名野川村、上半山村、吾川郡神谷村、下八川村、明治村、幡多郡東中筋村、山奈村、和田村、八東村)ヲ三班ニ分チ二回ノ巡回診療ヲ行ヒ醫療ノ普及ニ努メシ結果診療患者數四、〇三二人ニ達シ相當效果ヲ收メタリ。

福岡縣

救療施設ヲ二ニ分チ縣ノ施設トスル分ト濟生會ヲ通ジテ行フ分トニ分カチタリ、縣ニ於テハ特ニ診療規定ヲ設ケ病院、醫師、

齒科醫師及藥局開設ノ藥劑師ニ委託シタリ。  
濟生會ニ於テハ

イ、臨時恩賜救療券ヲ發行シ福岡、八幡兩市(濟生會病院所在地)ニ之ヲ交付シ市長、方面委員、警察官署ヲシテ之ヲ交付セシム

ロ、福岡、八幡兩病院ニ於テハ配當ヲ受ケタル臨時醫療救護恩賜金ニ相當スル額ノ藥品及治療材料ヲ購入シ臨時救護券持參者ニ對シ特ニ施療ヲ行ハシメ藥價治療材料費ハ一人一日平均金七錢ニテ經理セントス

ハ、經費

金一、一四五圓

御下賜金 五七三圓  
國費 五七二圓

内 金六三〇圓

福岡病院藥品費

金五一五圓

八幡病院同

大分縣

一人タリトモ多ク御聖恩ニ浴サシメ度<sup>恩賜</sup>財團濟生會ト共ニ夫々規定ニ基キ委託診療ニ、巡回診療ニ尙又無醫村ニ對シテハ二十餘名ノ出張醫ヲ囑託シ毎月四回乃至六回出張診療ニ從事セシメ共ノ他診療週間ヲ催シ「トラホーム」、寄生虫驅除等ノ診療ヲ爲シタルモノ共ノ數實人員一二、四七五人(延人員八八、五二三人)ニ及ビ之ガ結果トシテ一同御聖恩ノ厚キニ感激シ衷心同胞ノ幸福ヲ感謝シ各生業ニ服シツ、アリ。

佐賀縣

本縣ニ於テハ御下賜金並ニ國庫配當金(内金貳千圓)<sup>恩賜</sup>財團濟生會救療費(配當ス)ヲ基トシ別ニ赤十字社佐賀支部ヨリ新ニ救療費ヲ支出セシメ三團體共同ニテ醫療救護ヲ行ヒ之レニ要セシ事務的費用ハ總テ縣費ヲ以テ支出セリ。

醫療ハ委託診療ト出張診療ノ二法ヲ採リ新ニ醫療規程ヲ設ケ一般ノ要醫療者ニ對シテハ縣下各開業醫(他縣隣接ノ町村ニ在リ

ハ其ノ關係他縣開業醫又ハ病院)ニ付委託診療ヲ施セリ。

特別醫療不便地(開業醫ナキ農漁山村並ニ開業醫ノ所在ヨリ約二里以上ノ遠距離ニ在リテハ多數ノ戸口ヲ有スル部落及島嶼)ニハ醫療出張所ヲ設置シ特ニ囑託醫ヲシテ少クトモ毎月三回乃至五回ノ出張診療ヲ爲サシメ醫療ノ普及ニ努メタリ。

熊本縣

一、治療ノ方法ハ縣醫師會ト契約ヲ締結シ委託診療ノ方法ニ依ル外開業醫師居住セザル僻陬地三十五ヶ村ニハ毎月三回宛醫師ヲ出張セシメ定期出張診療所ヲ開設シ之ニ當ラシメ以テ救療ノ徹底ヲ期シツ、アリ。

二、趣旨ノ普及ニ關シテハ市町村長、方面委員並ニ駐在巡查等ヲ各地方毎ニ招集シ之ガ普及ヲ畫ル外特別地域ニハ特ニ係員ヲ派遣シ 聖旨ノ存スル處ヲ村民一般ニ傳ヘ以テ趣旨ノ普及ヲ畫レリ。

三、治療ノ概況ハ延人員ニ於テ委託診療ハ七〇、九四一人出張診療ハ六六、二七五人合計一三七、二一六人ヲ算ス。

而シテソノ取扱患者ハ四十歳以上五十歳未満ノモノ一、三二一人ニシテ患者總數ノ一三・五%ヲ占ムルヲ最大トシ三十歳以上四十歳未満ノモノ一、二五一人ニシテ患者總數ノ一二・八%ニ當リ之ニ次ギ又病類別ニ觀ルニ第一位ハ呼吸器疾患ノ二千三十七人(患者總數ノ二〇・八%)第二位ハ眼、耳疾患ノ一千六百二十七人(患者總數ノ一六・一%)ヲ示ス。

要スルニ毎月平均委託診療ニ於テ三百九十一人、出張診療ニ於テ三百六十三人、計七百五十四人ノ患者ニ付治療日數ハ委託診療ニ於テ十六日、出張診療ニ於テ十二日、平均十四日ヲ要シ又治療費ハ一人一日ニ付平均委託診療十八錢出張診療十八錢平均十八錢ヲ要シ之レガ一人ニ要シタル平均治療費ハ委託診療ニ於テ二圓九十錢出張診療ニ於テ二圓二十錢、平均二圓五十五錢トナル。

宮崎縣

昭和七年九月七日ヨリ管下十三ヶ町村ニ巡回診療ヲ實施シ同月二十七日ヨリ十七ヶ町村へ出張診療ヲ開始スルト共ニ他ノ一般町村へモ恩賜診療ヲ實施セリ而シテ昭和七年度末ニ於テハ管下各町村ニ一般診療ヲ實施スルト共ニ巡回診療(五ヶ町村)出張診

療(十七ヶ町村)トヲ併セ實施シツ、アリ。

救急箱二百二十二箇ヲ遠隔ノ部落ニ設置シ一般診療ト相俟ツテ相當ノ效果ヲ擧ゲツ、アリ。  
鹿兒島縣

救療實施ノ方法ハ委託出張及巡回診療ニヨリ要救療者ノ撰定ハ昭和六年縣下町村戸數割免除者數ヲ標準トシテ家族診療券ヲ發行シ之ヲ町村戸數三分戸數割免除者數七分ノ比ニ各町村ニ按分配布シ各町村ニ於テ其ノ診療券ノ枚數範圍ニ於テ該當者ヲ撰定シ交付セシメタリ。

沖繩縣

今回ノ恩賜醫療救護事業ハ昭和七年九月計畫ヲ樹テ十月開始スベキ豫定ナリシガ總テノ關係上十一月一日ヨリ診療ヲ開始セリ本縣現下ノ疲弊困憊ハ極度ニ達シ恩賜醫療救護、該當者ハ本縣總戸數約四分ノ一、三萬餘戸ノ多數ニ達スル状態ニアルモ豫算ノ關係上最下級民中一萬一千六百五戸ニ對シ診療券ヲ發行セリ。

診療方法ハ巡回診療、委託診療、出張診療ノ三種ニシテ其ノ施行方法ノ概要ヲ示セバ左ノ如シ。

巡回診療本縣ハ離島、及山間僻陬交通不便ノ町村多數ヲ有シ之等ノ内醫師居住セサル二十ヶ町村ニ對シ巡回診療ヲ爲シ診療班ハ醫師、調劑員、事務員ノ各一名ヲ以テ組織セル班、八班ヲ設置シテ從事セシメタリ。

出張診療ハ醫師居住セザル交通不便ナル村、並醫師居住セルモ地理的關係上出張診療ノ必要アリト認ムル宇部落二十五ヶ町村ニ對シ最寄町村醫師ヲシテ出張診療ヲ爲サシメタリ。

委託診療ハ醫師居住スル市町村ニ對シ其ノ地方ノ公私病院又ハ開業醫師ニ委託シテ診療ヲ行ハシメタリ。

實施成績ハ巡回診療ニ在リテハ開始當時ヨリ頗ル好成绩ヲ擧ゲタリシモ其ノ他ノ診療ニ於テハ振ハズ故ニ極力趣旨ノ宣傳ニ吏員ヲ出張セシメ或ハ「ポスター」、「ビラ」等ヲ配布スル等アラユル手段ヲ以テ宣傳セル結果漸ク本年二月ニ至リ、趣旨徹底セル所ガ施療患者頻出シ年度末ニハ巡回診療ニ劣ラザル成績ヲ示スニ至リ恩惠ニ浴シ感涙ニ咽ブ者多數ニ及ビタリ。

### 附 醫療救護ニ關スル美談並挿話

昭和七年十月以降翌八年三月末迄ニ救療ヲナシタル患者ハ別表ニ示スガ如ク實人員五十四萬五千九百五十人、治療延人員五百六十七萬四千六百四十一人ノ多數ニ達シ、是等救療ヲ受ケタル患者ハ何レモ赤貧ニシテ醫療ヲ受クルノ資ナク、或ハ多少ノ資ヲ有セルモノモ永キ病苦ニ之ヲ費消シテ空シク病褥ニ呻吟セルモノ或ハ山間ノ僻地ニシテ醫療ヲ得ルノ道ナキモノ等ニシテ今回ノ恩賜救療施設ニヨリ始メテ機宜ノ醫療ヲ受ケ、又ハ醫藥ヲ求ムルヲ得ルニ至リ、久シキニ渉ル難患モ、急激ニシテ重篤ナル疾患モ幸ニ治癒シ或ハ輕快シテ 聖恩ニ感泣シ居ル者枚舉ニ遑アラザル狀況ニシテ本施設ニヨリ無告ノ窮民ガ如何ニ感激シツ、アルカヲ推知スルニ足ル。

各府縣ニ於ケル醫療救護ニ關スル美談挿話ノ報告ヲ茲ニ摘録スベシ。

北海道

本道ハ地域廣大且ツ人口稀薄ナル爲概シテ交通不便ニシテ殊ニ山間僻地ニシテ數十尺ノ斷崖ヲ登攀シ、又ハ道路未開鑿ノ爲數里ノ山野ヲ踏ミ分ケ辛ウジテ交通スルノ状態ニアル部落尠カラズ又冬期間ハ積雪ノ爲交通杜絶ニ陥ル部落多數アリ、爲ニ醫療ノ普及ハ極メテ困難ナルモ本事業從事醫師、町村吏員並ニ恩賜金救療委員ハ 聖旨ニ添ヒ奉ルベク献身的ナル活動ヲ續ケツツアリ之等ニ關スル實話等一、二左ニ掲記ス。

一、檜山郡厚澤部村大字大丁岱居住醫師秋○信○ハ豫テヨリ近郷部落出張診療ノ委託ヲ受ケ之ニ從事中四月十六日同村中最モ交通不便ナル安野呂部落ノ診療ヲ了シ日没後猛烈ナル暴風雨ヲ冒シテノ歸途同所ヲ去ル約三里餘ノ險阻ナル山道ニ差掛リタル際偶々雷鳴アリ牽馬之ニ驚愕シ馬車諸共數十尺ノ斷崖ヨリ谷底ニ墜落胸部ヲ強打シ爲ニ外傷性肺炎ヲ誘發シ一時危篤ノ状態ニ陥リ爾來幸ニシテ經過良好ナリ。同人ハ資性温厚ニシテ醫師ノ天職ヲ辨ヘ常ニ良ク患者ニ親ミ近郷住民ヨリ慈父ノ如ク慕ハレツツアリ、今次ノ醫療救護ニ際シテモ自ら進ンデ之ニ從事セルモノニシテ今回ノ災難ハ不慮トハ云ヒ乍ラ全ク本事業